

鷺巣敦哉氏の諸雑誌寄稿論稿紹介（再訂稿）
—『鷺巣敦哉著作集』IV、V及び別巻（緑蔭書房、
平成12年12月10日刊、同14年1月31日刊）参考資料—

（令和4（2022）年7月31日（日）現在）

（補正経緯）

（HP初出）初稿：平成20（2008）年3月16日（日）作成
改訂稿：平成26（2014）年11月13日（木）作成
（一部補正、追加）
再訂稿：令和4（2022）年7月31日（日）作成
（レイアウト全面変更、一部補正、追加）

〔目次〕

| | |
|----------------------|---|
| 1 はじめに | 1 |
| 2 『台湾地方行政』 | 1 |
| 3 『台湾時報』 | 3 |
| 4 『台法月報』 | 3 |
| 5 『理蕃の友』 | 4 |
| 【附録】本HP掲載鷺巣敦哉氏関係資料一覧 | 5 |

1 はじめに

鷺巣敦哉氏（1896～1942）は、『台湾警察協会雑誌』、『台湾警察時報』¹以外の在台刊行諸雑誌にも、かなりの寄稿をしている。現在では、これらはいずれも『鷺巣敦哉著作集』（IV、V（緑蔭書房、平成12年12月10日刊）、別巻（同、平成14年1月31日刊））中に収録されているが、以下では、その状況を概観しておくこととする²。

2 『台湾地方行政』

¹ 鷺巣敦哉氏の『台湾警察協会雑誌』及び『台湾警察時報』の寄稿状況については、本HP別稿「『鷺巣敦哉著作集』V（「雑誌所収著作」：緑蔭書房、平成12年12月10日刊）及び同別巻（「警察試験叢書・雑誌所収著作補遺・索引」：同、平成14年1月31日刊）所収論稿一覧—日本統治下台湾警察史の一齣—」参照。

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatvoshi/washisukiko.pdf>

² 『鷺巣敦哉著作集』については、本HP別稿「鷺巣敦哉氏著作目録抄」参照。

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatvoshi/washisu002.pdf>

『台湾地方行政』は、台湾自治協会ないしは台湾地方行政協会より刊行されていたものであって、昭和 18（1943）年 12 月刊の第 9 巻第 12 号で一応終わり、翌昭和 19 年 1 月号より『地方行政』に改称されたが、このあたりの詳細は不明である³。

鷺巣氏は、昭和 12（1937）年 1 月刊の第 3 巻第 1 号から 4 月の第 3 巻第 4 号まで、「台湾地方行政の四十年史話」（（1）～（4））を寄稿し、次いで、第 4 巻第 3 号（昭和 13 年 3 月刊）に「本島民兵役志願制度の回顧」と発表している。その後、「爐辺夜話 台湾統治回顧談」の表題の下、昭和 13 年 7 月刊の第 4 巻第 7 号より、同 15 年 12 月刊の第 6 巻第 12 号まで、23 回にわたって、「台湾の領有と民心の変化」について連載（完結）し、昭和 16 年 2 月刊の第 7 巻第 2 号、同 3 月刊の同第 3 号には、その続稿である「爐辺夜話 台湾統治回顧談 官場の巻」（（1）～（2））を寄稿しているが、これは、残念ながら、未完に終わった。

次いで、昭和 16（1941）年 1 月以来の病いで静養中の 7 月 5 日の日付で、「総督政治の大飛躍 “起て！本島有識階級”」を執筆し、第 7 巻第 8 号（昭和 16 年 8 月 1 日刊）に寄稿している。これが、鷺巣氏生前中に執筆年月日を確認できる最後の雑誌論稿である。

しかして、鷺巣氏逝去（昭和 17 年 3 月 29 日）後の昭和 18（1943）年 9 月 20 日に、遺著として『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（台湾警察協会、昭和 18 年 9 月 20 日初版刊。定価 3 円 50 銭。『鷺巣敦哉著作集』Ⅳに収録。）が台湾警察協会より刊行された⁴が、その中には、上記諸稿中「爐辺夜話 台湾統治回顧談」23 回分のうち 22 回（第 12 話（第 6 巻第 8 号）分を除く。）、「総督政治の大飛躍 “起て！本島有識階級”」（これら二論稿を併せて、「1～19」章に分ける。）及び「本島民兵役志願制度の回顧」（「附」とする。）が、取りまとめられ収録されている。このうち、「総督政治の大飛躍 “起て！本島有識階級”」は、収録に当たり、単行書刊行までの時の経過を踏まえて、かなり改訂されている。なお、上記第 7 巻第 8 号掲載の「総督政治の大飛躍 “起て！本島有識階級”」本文そのものは、その後、改めて『鷺巣敦哉著作集』別巻 366 頁以下に収

³ 限定版ではあるが、中島利郎（1947～）編『『台湾地方行政』総目・人名索引〔試行本〕』（緑蔭書房、平成 21 年 9 月 20 日刊）参照。ただし、現時点での最終刊行確認号は『地方行政』第 2 巻第 1 号（昭和 20 年 1 月 15 日刊）である。（平成 26 年 11 月 13 日追加）

『台湾地方行政』については、本 HP 別稿「田宮良策氏台湾関係著作抄—日本統治下台湾史の一齣—」（<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatvoshi/tamiya001.pdf>）参照。（令和 4（2022）年 7 月 31 日追加）

⁴ 鷺巣敦哉『台湾保甲皇民化読本』第三版（昭和 16 年 11 月 20 日刊。『鷺巣敦哉著作集』Ⅲ）「巻末広告」で、当時既に『爐辺夜話 台湾統治回顧談 台湾の領有と民心変化の巻』（自己出版、定価 1 円 60 銭、四六版約 400 頁）（昭和 15 年か 16 年刊？。未発見。）なる書籍がおそらく自己出版で出ていることが判明するが、未発見であり、これがいかなるものかは不明である。おそらく鷺巣氏の死後これを改題の上遺著の形で改めて公刊したものが本書とも推測されるが、なお今後の課題である。このあたり中島利郎教授執筆の『鷺巣敦哉著作集』Ⅳ所収「Ⅳ『台湾統治回顧談』解説」3 頁に詳しい。御参照を乞う。また、本書関連著作として、『鷺巣敦哉著作集』別巻 363～372 頁所収論稿及び同巻解説 473～474 頁をも併せ御参照。なお、同書の編輯人、発行者である篠原哲次郎氏（筆名 志能鏑川）は台湾警察協会幹事で、長く『警察時報』編輯主幹であったことから、台湾警察教養史上重要な地歩を占めており、また、鷺巣氏との個人的関係も深かったと思われることから、今後詳しく検討されるべき人物かと思われる。（平成 26 年 11 月 13 日追加）

録された⁵。

したがって、鷺巣氏の個々の論稿を収載した『鷺巣敦哉著作集』V（雑誌所収著作）には、これらを除いたもの、すなわち、「台湾地方行政四十年史話」（（1）～（4））、「爐辺夜話 台湾統治回顧談 第12話」及び「爐辺夜話 台湾統治回顧談 官場の巻」（（1）～（2））が収録されている。うち、第6巻第8号所収の「爐辺夜話」（第12話）（32頁以下）は、その冒頭に書かれているように、急抛執筆されたものであって、台湾における内地人の実態を論じたもので、極めて興味深い。

なお、『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（『鷺巣敦哉著作集』IV）「はしがき」は、鷺巣氏自身が執筆したものと考えられるが、日付がなく、また、「遺著」とされているものの、その刊行の経緯がまったく記述されていないことは、はなはだ残念なことである。ただ、同書（『鷺巣敦哉著作集』IV）370頁には昭和16年12月の記述があることから、鷺巣氏が最後まで手を加えていたことが窺える。なお、『鷺巣敦哉著作集』IVについては、中島利郎教授による同書解説を参照。

3 『台湾時報』

鷺巣氏が『台湾時報』に寄稿した論稿は、全部で4編あるが、そのうち、第165号（昭和8年8月刊）所掲の「漫録・台湾今昔譚」は、当該号より破棄削除されている。これについて、鷺巣氏自身、『台湾地方行政』第6巻第9号（昭和15年12月刊）64頁で、「台湾土匪」の昔話を書いたことにより検閲に引っかかったが故と述べている。この部分の記述は、『鷺巣敦哉著作集』Vには未収録であったが、後に『鷺巣敦哉著作集』別巻364、365頁に収録された。『台湾時報』は総督府の広報誌であったから、種々の制約があったものと思われる。ちなみに、鷺巣氏は、この後、『台湾警察時報』第218号（昭和9年1月刊）156頁以下（『鷺巣敦哉著作集』V204頁以下に所収。）に「土匪昔ばなし」を載せている。

したがって、『鷺巣敦哉著作集』Vでは、残りの3編、すなわち、第210号（昭和12年5月刊）、第211号（同6月刊）の両号所掲の「拓務省の沿革」及び第240号（昭和14年12月19日刊）所掲の「台湾皇民化の諸問題」が収録されている。後者については、その後、『鷺巣敦哉著作集』III（『台湾保甲皇民化読本』）にも、改定増補して収載されている。

4 『台法月報』

鷺巣氏は、『台法月報』には、昭和16（1941）年2月の第35巻第2号から7月の7号

⁵ 本HP別稿「鷺巣敦哉氏著『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（台湾警察協会、昭和18年9月20日刊）・雑誌『台湾地方行政』比較対照表—『鷺巣敦哉著作集』IV（『台湾統治回顧談〈台湾の領有と民心の変化〉』：緑蔭書房、平成12年12月10日刊）参考資料一」参照。

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatvoshi/washisukaiko.pdf>

まで、5回にわたって、「特輯記事・法院制度の今昔物語」（(1)～(5)）を寄稿している（同年3月刊の第3号には休載。）。

当時、鷺巣氏は、『台湾総督府警察沿革誌第二編領台以後の治安状況下巻—司法警察及犯罪即決の変遷史』（台湾総督府警務局編、昭和17年3月29日刊）中の台湾に於ける刑事警察制度の沿革部分を取りまとめていたため、上記『台法月報』第35巻第2号所収の「はしがき」によれば、これとの絡みで、台湾における法院制度について「近時台湾司直の任につかれた人々の参考に」論述したと述べている（86頁、『鷺巣敦哉著作集』V581頁）。また、同稿は、前掲『台湾地方行政』に連載された「爐辺夜話 台湾統治回顧談」の一環をなすものであるとも述べている（同）。

このうち、上記第35巻第7号掲載分末尾には、「（中略）筆者は病後保養の為め近く帰省の筈。一応之れにて掲筆、縁がありましたら又執筆させて頂きます。駄文で紙上を汚したことを謝します。（六月廿日）」（146頁、『鷺巣敦哉著作集』V607頁）とあるので、執筆時期は、鷺巣が健康を損なっていた頃のものであることがわかる。前掲『台湾地方行政』第7巻第8号（昭和16年8月1日刊）と同じ時期の記述であり、これ又、鷺巣氏逝去前のことが窺えて貴重である。

なお、この「法院制度の今昔物語」は、前述のように、「爐辺夜話 台湾統治回顧談」の一環とのことであるが、遺著として刊行された前掲『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（『鷺巣敦哉著作集』IV）には収められていない。よって、『鷺巣敦哉著作集』Vに収録された。

5 『理蕃の友』

上記の他に、現在鷺巣氏の寄稿が判明しているものには、『理蕃の友』第61号（昭和12年1月刊）、第62号（同2月刊）、第63号（同3月刊）、第64号（同4月刊）及び第66号（同6月刊）の5回にわたって連載された「理蕃四十年史話」（(1)～(5)）

（ただし、何故か(1)のみ「理蕃の四十年史話」と題す。）があるが、『理蕃の友』は既に復刻されていた（緑蔭書房、平成5年10月10日刊）ので、『鷺巣敦哉著作集』Vには収録されなかったが、その後、『鷺巣敦哉著作集』別巻373頁以下に収められた。なお、上記緑蔭書房の『理蕃の友』復刻版には、近藤正己氏（1949～）の解題、総目次、著者名索引が、「別冊」として付されており、便利である。ただ、若干の欠号がある。これについては、緑蔭書房で現在増補版を検討中とも仄聞するが、平成20（2008）年3月現在では（⇒平成26年11月13日現在でも）現在では刊行されていない。

【附録】本 HP 掲載鷺巣敦哉氏関係資料一覧（令和 4（2022）年 7 月 30 日追加）

・「鷺巣敦哉氏と『台湾総督府警察沿革誌』の編纂について—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu001.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏著作目録抄—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu002.pdf>〉

・『鷺巣敦哉著作集 補遺』（緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊）概要—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu003.pdf>〉

・『鷺巣敦哉著作集』V（「雑誌所収著作」：緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）、同別巻（「警察試験叢書・雑誌所収著作補遺・索引」：同、平成 14 年 1 月 31 日刊）及び『鷺巣敦哉著作集 補遺 警察試験叢書（続）・雑誌所収著作補遺（続）・索引』（同、平成 26 年 7 月 31 日刊）所収論稿一覧—日本統治下台湾警察史の一齣—」（本稿）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisukiko.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏の諸雑誌寄稿論稿紹介—『鷺巣敦哉著作集』IV、V 及び別巻（緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊、同 14 年 1 月 31 日刊）参考資料—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisuzasshikiko.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏著『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（台湾警察協会、昭和 18 年 9 月 20 日刊）・雑誌『台湾地方行政』比較対照表—『鷺巣敦哉著作集』IV（『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』：緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）参考資料— —日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisukaiko.pdf>〉

・「東方孝義・鷺巣敦哉両氏共編『警察語学試験問題及解答集』（警察試験叢書第四編、自己出版、昭和 10 年 11 月 30 日刊）の再発見 —日本統治下台湾警察語学教養の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/higashikata001.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』及び台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』（昭和 19 年 1 月刊）—瞥—最近台湾再発見の日本統治下台湾警察史関係希覯書二題— —日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisutebiki.pdf>〉

・「村上収氏の御逝去を悼みて—『台湾総督府警察沿革誌 第二編 領台以後の治安状況 中巻 —台湾社会運動史—』編纂過程の究明によせて— —日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/murakami001.pdf>〉

・「木村貞次郎氏台湾語関係著作目録抄—日本統治下台湾警察語学教養の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kimura001.pdf>〉

（了）